

臨床医学委員会・総合工学委員会合同放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会
粒子線治療産学共同研究の国際競争力強化検討小委員会（第26期・第1回）議事要旨

文責 中野

日 時：令和6年12月4日（水）午後6時30～8時

開催形式：web会議方式

参加者：神田 玲子、志田原美保、中野隆史、西尾禎治、井垣浩、大野達也、櫻井英幸、白井敏之、鈴木義行、橘正則、歳藤利行、平田寛、古川卓司、松浦妙子、山田貴啓、若月優（計16名）

欠席者：櫻井博儀、青木茂樹、唐澤久美子（計3名）

議事内容

1. 開会のあいさつ：当該分科会 委員長の中野隆史から当該小委員会開催の趣旨説明が行われた。
2. 委員の紹介：参加委員から自己紹介が行われた。
3. 役員を選出：本委員会の役員を選出が行われ、中野隆史が委員長、櫻井博儀氏が副委員長、幹事に西尾禎治氏、若月優氏が選出された。
4. 小委員会の活動目的と計画について：委員長から小委員会の目的が説明され、主たる目的は、日本が、粒子線治療の研究開発や社会実装で、多くの課題を見極め、解決法等を含め審議し、国内はもとより国際的にも学術的医療的活躍が強化され、かつ先進的治療機器開発とその社会実装で国際市場を席捲できるように、政府等あらゆる可能な支援を要請すべく要望書を分科会に提出し、その決議を経て政府に提出すること、との説明が行われた。

その後、要望書の作成作業の大まかな日程が説明され、了承された。今後、作業の審議を行い、作業分担等を行い、作業を進める旨の説明が行われた。

5. 委員と情報共有するために、各分野で依頼された9名の委員から現時点で抱えている課題や問題点について意見表明がなされ、資料とともに情報を共有した。

意見表明者：櫻井英幸、若月、大野、井垣、西尾、平田、橘、山田、古川

次回の小委員会は2月に予定しており、1か月前に事務局に連絡する必要があるため、後日、日程調整表がメール配信され、12月13日までに都合を連絡することとなった。